

東京大学公共政策大学院 国際交通政策研究ユニット ご説明資料

日本航空による観光価値創造と 地方創生に関する取り組み

2016年2月16日

日本航空株式会社

取締役会長 大西 賢

これまでの地方創生に関する取り組み

「好き」になっていただくための取り組み

これからの取り組み ～新JAPAN PROJECT

これまでの地方創生に関する取り組み

- 地域のプロモーション ～JAPAN PROJECT～
- 特産品のプロモーションとブランド化
- イベント育成による需要創出
- 割引運賃による需要創出
- 地方路線活性化による需要創出 ～地域との共同モデル～
- 訪日外国人向けプロモーション
- 割引運賃による訪日外国人の地方誘客
- チャーター便による広域周遊需要の創出
- ツアー商品による外国人旅行者周遊活性化

「好き」になっていただくための取り組み

これからの取り組み ～新JAPAN PROJECT～

日本各地にある「風景」「伝統」「文化」「食」「人」の素晴らしさを 日本各地・世界に伝えるプロジェクト

- 2011年5月にスタートし、2016年2月に第56回を迎えるJAPAN PROJECTでは、毎月1つずつ、合計で32都道府県、4都市を取り上げ、機内誌や機内エンターテイメント、ソーシャルネットワークでの国内外への情報発信だけでなく、機内食やラウンジでの地域の食の提供、旅行商品の開発などで、地域への人の呼び込み、交流人口の拡大に取り組んできました。

機内誌、Webでの魅力紹介

- 特集で地域の魅力を紹介
- 発行部数400万部の機内誌、会員向け情報誌の他、機内エンターテイメントによる紹介
- 地元出身の客室乗務員が名物・名所をまじえて土地の魅力をご紹介



機内食・ラウンジでの魅力紹介

- 国内線ファーストクラスやラウンジ等にて、各地の名店プロデュースによるスペシャルメニューで地域の魅力を紹介



地元とコラボしたキャンペーン

- 地域とコラボしたディスティネーションキャンペーンを実施
- 地元の名産品、隠れた観光名所の入場券などを賞品としてご提供し、販売促進や誘客を図る



地域の銘品の販売

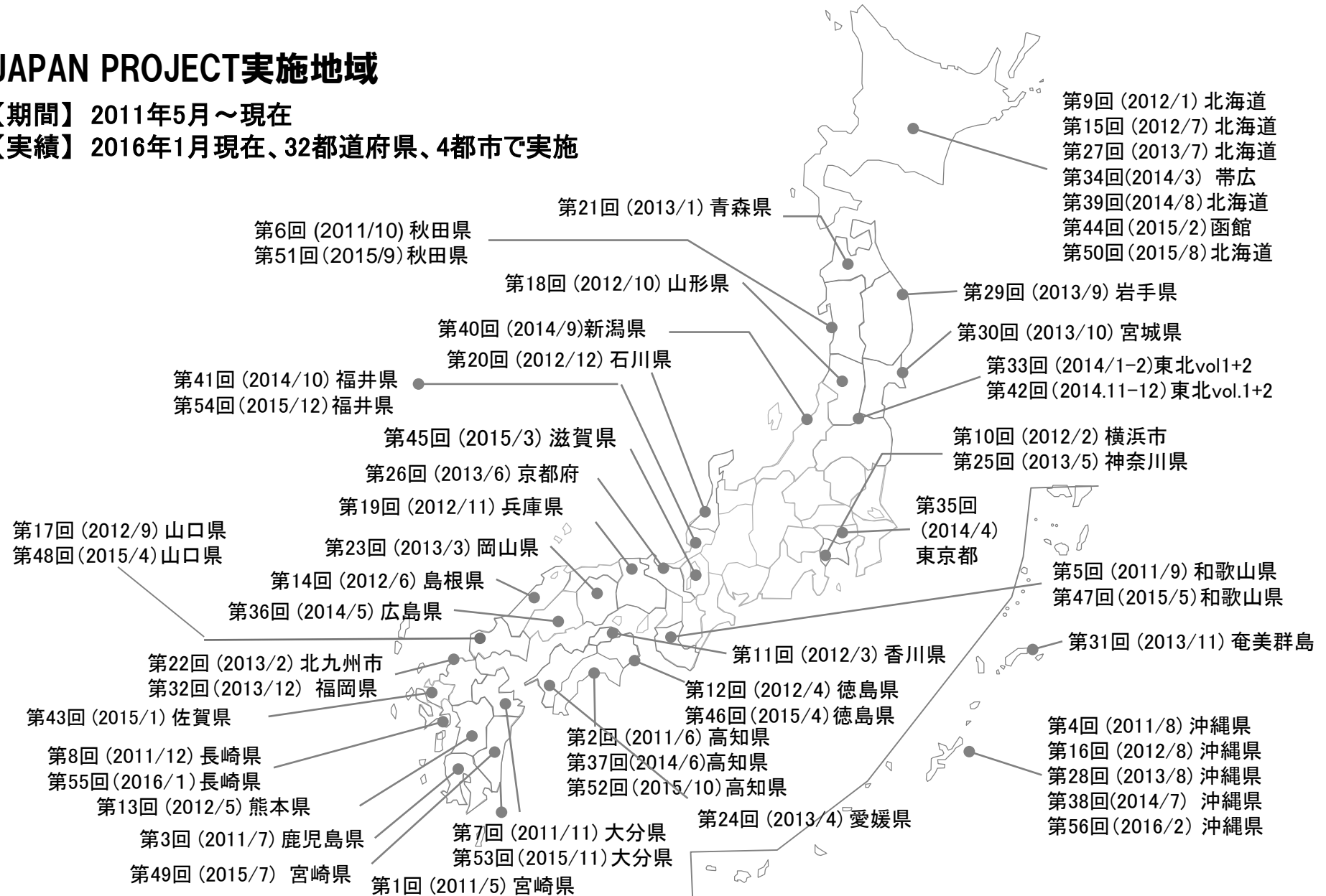
- マイレージ会員向けのショッピングサイトに、JAL取っておきの逸品として、紹介した地域銘品を購入できるサイトを設置



JAPAN PROJECT実施地域

【期間】 2011年5月～現在

【実績】 2016年1月現在、32都道府県、4都市で実施



地域の食材、郷土料理、銘菓など地域の味を、機内食、ラウンジで提供

- 各地の食材や郷土料理の魅力を伝えるため、国内線の機内食やラウンジで郷土の味を提供しています。
- 2013年9月からは、国際線ビジネスクラスの機内食もJAPAN PROJECTと連動したメニュー内容にしました。

採用した各地の代表的な食材

山口県

白オクラ
長州黒かしわ
長門柚子
岩国レンコン
山口県産剣いか
山口県産金太郎、白倍貝
山口県産穴子
山口県産甘鯛

島根県

アゴ(飛魚)
出雲そば
あらめ

広島県

瀬戸内小鯛
広島レモン
広島菜
瀬戸内音戸ちりめん
広島もみじ豚
瀬戸内ねぶと
広島蒟蒻
瀬戸内ままかり

石川県

能登産鶏
加賀味噌
加賀野菜
能登産豚
福井県
昇龍舞茸
鮎のなれずし
若狭牛

新潟県

越後系瓜
越乃鶏
越後八色椎茸
八海山サーモン(虹鱒)
佐渡いごねり
越乃黄金豚

青森県

青森県産ミニふじ
青森県産リンゴ<ふじ>
ふかうら雪人参
青森県産ガーリックポーク
青森県陸奥湾産帆立
県産地鶏青森シャモロック

岩手県

岩泉短角牛
いわて田野畑産合鴨
南部時うり
安家地大根
八幡平サーモン
三陸秋刀魚
南部一郎かぼちゃ
普代のすきこんぶ
岩泉の葉わさび
館ヶ森高原豚焼
気仙沼坂本赤カブ
南部煎餅
花巻・白金豚
大槌復興米
南部鮭
岩手しわもちもち牛
柴波産葡萄
鹿ヶ谷(しがだに)
南瓜
南部鮭
三陸わかめ
三陸帆立
早地峰菜
坂本赤カブ
石黒農場 ほろほろ鳥
金精長芋

北海道

十勝カマンベールチーズ
十勝産若鶏
十勝産ゴボウ
十勝産とうもろこし(ホワイトショコラ)
十勝産カラフルポテト
十勝産ホエー豚
十勝産大豆
十勝産若鶏
北海道産ほっけ
姫鯉
間引き昆布

熊本県

熊本県産和牛
阿蘇新高菜
大阿蘇鶏
干しタケノコ
鹿児島 黒豚
屋久島飛魚
鹿児島黒毛和牛
さつま芋
奄美大島産「黒糖かりんとう」

宮崎県

太陽のタマゴ
特選宮崎牛
宮崎シロチョウザメ
西米良サーモン
桜姫鶏
佐土原ナス
あじ豚
青島せんべい
ぼてっち〜
あまざけ+乳酸菌
ちほまる
牛乳あまざけ
白白麩

長崎県

雲仙活き活きポーク
長崎産真鯛
長崎みかん
雲仙しまばら鶏
島原昆布
長崎ハーブ鶏
雲仙クリーンポーク
雲仙こぶ高菜
九州産鮭
長崎牛
雲仙こぶ高菜

福岡県

合馬筍
華味鳥
大分県
湯布院産クレソン「笹なば」
由布院産盆地米
大分日出産鱧
豊後牛
内成棚田米
大分県産鯛
おおい冠地どり

秋田県

比内地鶏
アワビ茸
とんぶり
きりたんぼ
八幡平ポーク
秋田ニオウサク
県産白舞茸
由利牛

宮城県

三陸産イワシ
みちのく鶏
仙台小松菜
宮城野ポーク
宮城県産森林鶏
仙台味噌
大河原町柚子
山形県産「つや姫」
あけび
米沢牛
さくらんぼ
近江漬け
米沢牛
鯉
山形県産ラフランス

山形県

鹿児島県

鹿児島 黒豚
屋久島飛魚
鹿児島黒毛和牛
さつま芋
奄美大島産「黒糖かりんとう」

沖縄県

やんばる島豚あくー
やんばる鶏
もとぶ牛
もとぶ牛
伊江島産小麦
秋ウコン
喜璃癒志(かりゆし)豚
シークワーサー
ハーブ
紅豚

高知県

土佐シロー、四万十鶏
大川村はちきん地鶏
土佐山の苺
四万十の筋のり・青さ海苔
高知県産新高梨
土佐秋苺
四万十ポーク
高知県産四方竹、米茄子、秋豆
いたどり
四万十川海老
高知県産目光、海援鯛
高知県産沖ウレメ
高知県産フルーツマト

愛媛県

媛っこ地鶏
愛媛みかん
愛媛はらんぼ
伊予の里芋
松山揚げ
甘とろ豚
伊予味噌
内子椎茸
愛媛豚
愛媛鯛
伊予牛

香川県

まん葉
讃岐牛
うすい豆腐

徳島県

徳島産鳴門若布
県産和田島ちりめん
徳島産蓮根
阿波尾鶏
鳴門金時芋
徳島県産たんぼ米
徳島産鱧
金時豚
徳島県産フルーツマト
なると金時芋
阿波尾鶏
酢だち

和歌山県

梅
紀州うめどり
紀州うめふた
あゆちょび
熊野牛
すさみノブタ
黒アワビ茸
うすい豆
紀州太刀魚

兵庫県

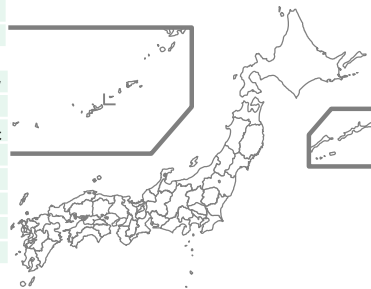
但馬牛
香住産勢子蟹
津居山産鮓(ハタハタ)
丹波の黒豆

京都府

京丹後産さざえ
京のもち豚
久美浜産フルーツマト
丹後地鶏
京丹後黒にんにく
京丹後産若布
丹後鬼海老
日本海の紅蟹
丹後砂丘大根
京都牛
京丹後モツァレラチーズ

滋賀県

琵琶湖産たてぼし貝
比叡湯葉
八幡蒟蒻
近江豚
草津葱
みずかがみ(米)
比叡波み上げ湯葉
醒ヶ井虹鱒
琵琶湖産水魚



新たな産品を地域のブランドに ～地域の魅力を伝える／販売を増やす、お手伝い～

新たな地域の名産品作りのお手伝い 第1弾

- 青森県とタイアップし、2015年秋から収穫が始まった青森県初の特Aランク米「青天の霹靂（へきれき）」を成田・羽田のJALファーストクラスラウンジ、サクララウンジにてご提供しています。
- 11月には、青森県のアンテナショップ「あおもり北彩館前」で、観光情報PRや物産品販売のサポートを行なうイベントに青森県出身の客室乗務員（CA）も参加しました。
- 青森県が満を持して世に送り出す「青天の霹靂」のおいしさをご紹介し、ブランドとして広く認知されるまでJALグループをあげてお手伝いします。



ブランド化のお手伝い

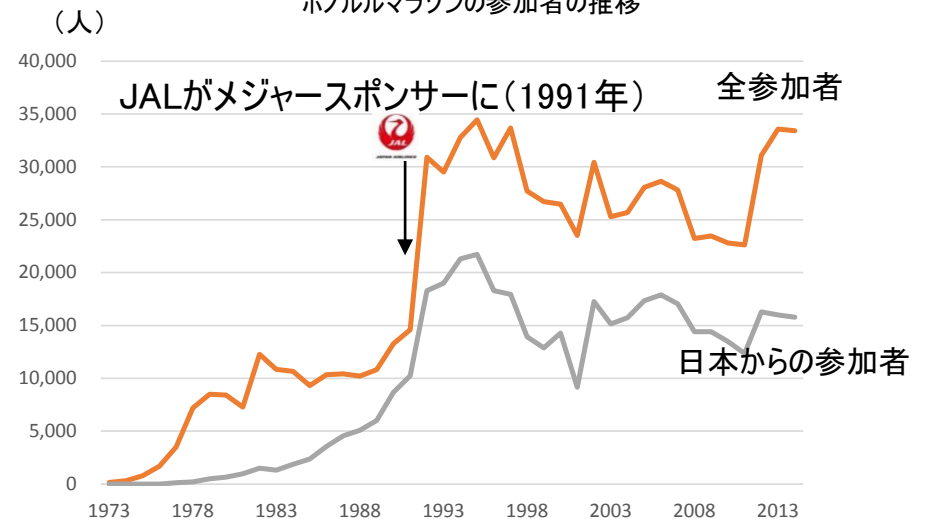
- 今後、続々と生まれることが期待されている地域の新たな産品を、国内外でブランドと認知され、新たな地域の名産品にしていくことへのお手伝いを拡大していきます。

ホノルル・マラソンによる閑散期需要の創出

- JALグループは、1973年に始まった歴史あるオアフ島マラソンを、1985年より「JALホノルルマラソン」として、1991年からは、メジャースポンサーとして、特別協賛しています。
- 日本・ハワイのほか、今では世界各国より約3万人が参加しており、海外の市民マラソンでは、日本人に最も人気のある大会です。
- 1995年には、世界最大の参加者記録34,434人を達成しています。
- 観光需要が落ち込むハワイの雨季に開催し、新たな観光需要創出と地域活性化を実現しています。
- 2015年には、日本からは定期便のほか、臨時便を2往復運航して、参加者の皆さまのハワイ渡航を支えています。



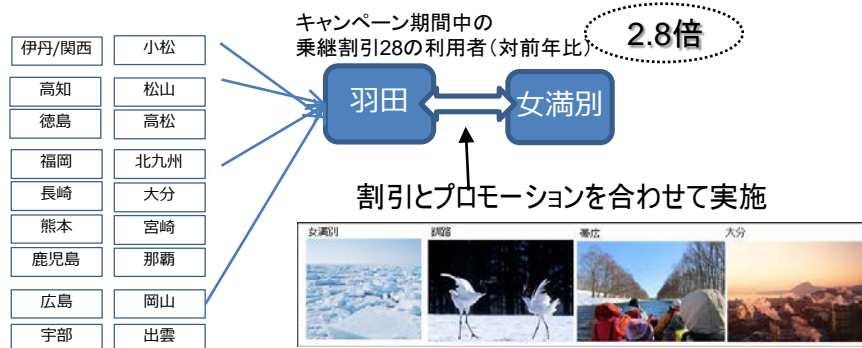
ホノルルマラソンの参加者の推移



地方から地方への需要創出

～乗継割引の拡大～

- 東京や大阪などの都市を経由して、地方から地方へ移動するための乗継割引をご提供し、地域間の交流の活性化に取り組んでいます。
- 「乗継割引28」では、割引率を大幅拡大し、需要喚起に取り組んでいます。
- 例えば、冬季の女満別空港利用者はキャンペーンにより乗継運賃28の利用者が、前年の2.8倍に拡大し、需要創出に貢献しています。



乗継割引による需要喚起キャンペーン実施実績

出雲・松山・九州	=	東北
札幌・青森・秋田・小松	=	南紀白浜
関西・北陸・中国・四国・九州の全空港	=	女満別
東京・大阪・福岡・鹿児島	=	奄美群島

「ふるさと割」と、地域の新たな魅力による誘客

- 全国8の自治体と提携し、国の創設した交付金事業¹⁾に参画し、割引運賃による需要創出に取り組んでいます。
- 単なる割引でなく、自治体や地域の観光協会と共同で観光資源を発掘、ツアーを企画しています。また、ウェブで予約ができる「JALダイナミックパッケージ」と連携させ、多くのお客様にご利用いただいています。



ふるさと割実施路線

- 石川県
- 岡山県
- 鹿児島県
- 宮崎県
- 網走市
- 帯広市
- 天童市
- 山形市

JALオリジナルコンテンツによる地域の魅力発信とダイナミックパッケージ販売による地域への誘客促進(帯広市の例)

1) 地域住民生活等緊急支援のための交付金事業

山形県とJAL共同の地域活性化策「山形モデル」が、 “羽田発着枠政策コンテスト”(国土交通省)で採択され高評価

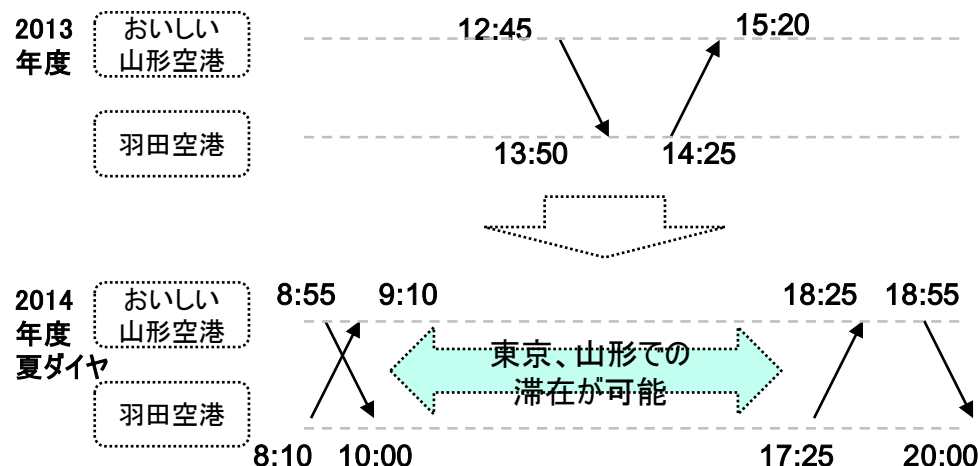
山形県とJALが共同での地域活性化

- 羽田の発着枠を有効活用し、地域と共同で地域活性化のための施策を実施し、効果が出ています。
- 交流促進とともに、新幹線を補完するリダンダンシー機能、地元からの移動時間の短縮など、地元の要望を反映した共同プロジェクトです。
- プロジェクトにより、日帰り利用者など新たな需要を創出し、地域のビジネスを支える足として利用されています。その効果が評価されているのに加えて、羽田を経由したインバウンドの東北への誘致への期待も高いモデルです。

「山形モデル」の利用促進の内容

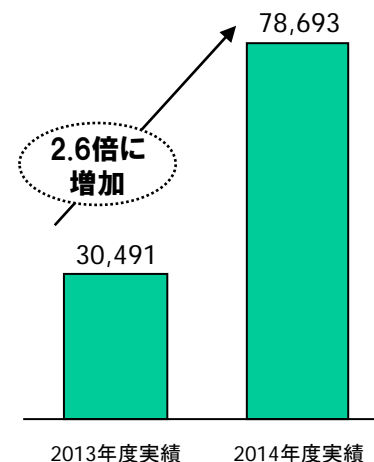
- 羽田＝山形線を1日1往復から2往復に増便
- 朝夕2往復での日帰りビジネス需要への対応
- 新幹線と同等の事前割引運賃を設定
- 路線の黒字・赤字を、地元(山形空港利用拡大推進協議会)とJALが折半するモデル

羽田＝山形線 運航スケジュール



結果

供給席数約2倍に対して、旅客数が約2.6倍
日帰り利用が全体の1割＝新たな需要の創出



日本の魅力、おもてなしを海外の方へ伝えるサイト ～Guide to Japan～

- 訪日外国人向け情報案内サイト「JAL Guide to Japan」を2004年にオープンしました。
- 2015年6月に、英語と中国語3言語に加え、新たにヨーロッパ3言語(仏・独・露)でのサービスを開始し、英語、中国簡体字、香港繁体字、台湾繁体字とあわせて合計7言語に対応し、現在は世界26地域で利用されています。
- JALならではの「おもてなし」と日本の「おもてなし」をうまく表現できている点などが評価され、2014年日本Webグランプリで企業グランプリ部門「プロモーションサイト賞」優秀賞を受賞しました。



《主なコンテンツ》

基本情報

- 日本の四季、伝統、歴史、現代文化
- トラベルインフォメーション(観光案内、空港、交通、ビザ情報など)
- MAP(温泉、グルメ、世界遺産情報などの検索)
- 『HOW TSU JAPAN』(日本ならではの習慣・マナー・心得などをイラストで解説)

地域の生の情報

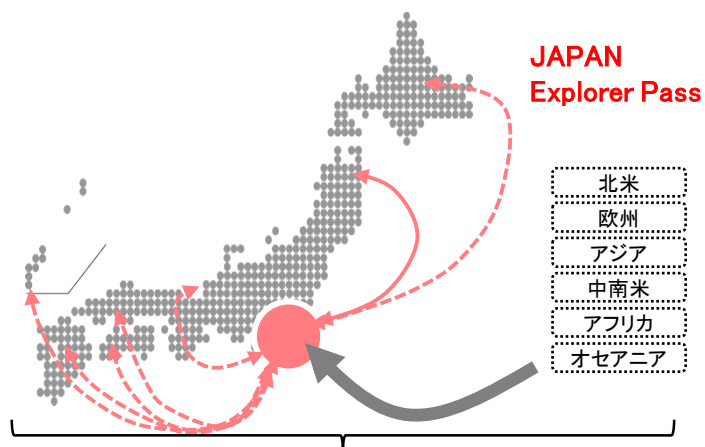
- 各地域の人気コンテンツ(観光・体験型スポット、ご当地グルメ、日本酒など)
- お祭りなど四季折々のイベントカレンダー
- 海外支店スタッフによる日本紹介のブログ

その他

- Omotenashi(JALならではのおもてなしを紹介)

Japan Explorer Passで訪日外国人を地方に

- 訪日外国人の国内旅行に使いやすいよう、日本到着後でも、搭乗72時間前まで購入可能な新運賃「Japan Explorer Pass*」を設定しました。
- 東京、大阪など主要都市やゴールデンルートだけではなく、訪日外国人の流れがより多くの地方にいきわたるようにする取り組みです。



Japan Explorer Passで国内周遊を便利に
(来日利用航空会社に関わらず72時間前までであれば、訪日外国人向け運賃を日本でも購入可能に)



JAL Japan Explorer Pass



Japan Explorer Pass is a simple and low cost fare for travelers who love to explore the unique culture of each domestic destinations in Japan. The fare can be used to over 30 cities in JAL's domestic network.

FARE

Number of Flight Sector(s)	Fare (Japan Consumption Tax Included)	Routing Example
One	JPY 10,800	Tokyo > Sapporo
Two	JPY 21,600	Tokyo > Osaka > Fukuoka
Three	JPY 32,400	Tokyo > Osaka > Fukuoka > Naha
Four	JPY 43,200	Tokyo > Osaka > Fukuoka > Naha > Ishigaki
Five	JPY 54,000	Tokyo > Osaka > Fukuoka > Naha > Ishigaki > Tokyo

*Fare is valid for Economy Class travel only. (Class J, First Class may be purchased at the time of check-in on a standby basis.)

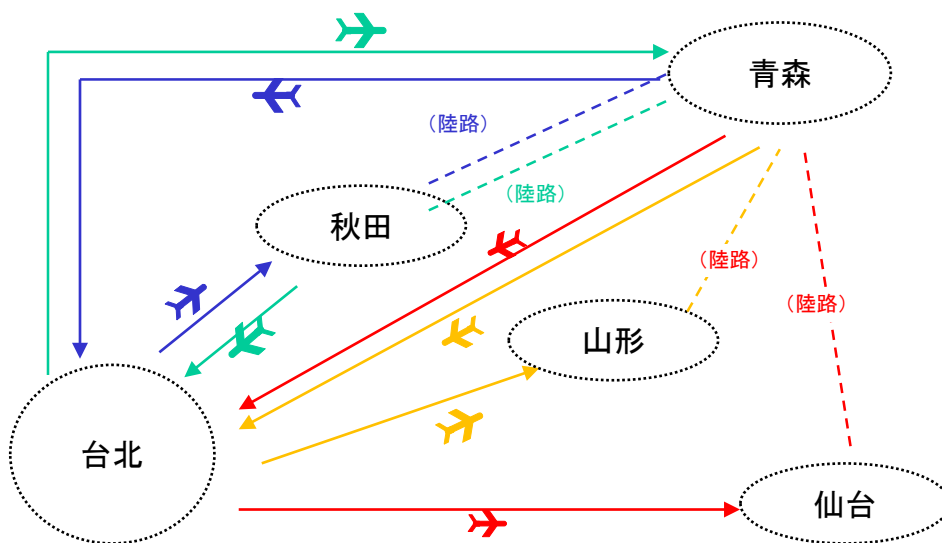
東北と世界を結ぶチャーター便でインバウンドによる東北観光振興に貢献

- 東日本大震災発生の翌月から5カ月間で、2,700便の臨時便を東北地方に運航し、復興に協力してきました。
- 2012年からは、訪日外国人の誘致による東北観光振興を目的に、台湾、香港から青森、秋田、山形、仙台へのチャーター便を運航して参りました。
- 2013年からは、東北での到着と出発が異なる空港での便を運航し、東北地方を周遊する旅程を可能にしており、今後の広域周遊のモデルになるものです。
- 2011年以降、合計で、1,115名の方にご利用いただきました。

2015年チャーター便の青森空港到着時の様子



東北周遊を可能にしている東北チャーターの運航ルート



東北チャーター(インバウンド向け)運航実績

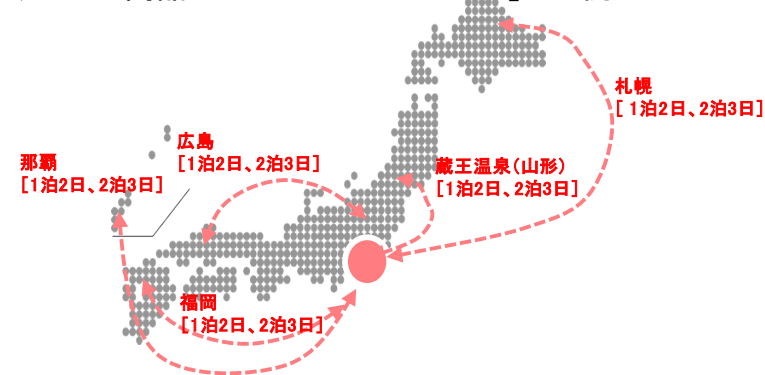
2012年3月	香港＝仙台
2013年10月～11月	台北＝山形・青森
2015年11月	台北＝青森・秋田

地方へ訪日外国人を誘致する取り組み

日本滞在中に、地方都市への国内旅行を可能にするパッケージ商品を提供し地方への誘客を促進
 ～JAL国内線を使った訪日個人旅行向け「JALスペシャルパッケージ」～

- 訪日外国人が滞在中に国内を旅行・周遊するための「JALスペシャルパッケージ」を、JTBグループと共同で設定、2014年12月から販売を開始しました。
- それまで、日本到着後に購入できる国内ツアーは、バスや新幹線を使った商品のみでしたが、国内遠方への旅行も可能にし、より多くの訪日観光客を地方都市に呼び込むことに取り組んでいます。

EXPERIENCE JAPAN
 JTB「JAPANiCAN」で販売している東京発着の国内線利用ツアー商品「JALスペシャルパッケージ」の一例



台湾の旅行会社で、JR東日本と協働して日本ツアーを販売

- JALとJR東日本が共同で出資・運営する台湾「創造旅行社」は、“陸”と“空”を活かして地方へ訪日外国人を誘致するツアーも開発・販売しています。
- ゴールデンルートだけではなく、東京等での乗継航空券を活用したツアーや、航空＋鉄道で東北など地方へ訪問する商品も用意し、訪日外国人の地方への訪問を増やすことに取り組んでいます。

創造旅行社が提供するツアー

AIR+RAIL ツアー



冬季の東北北海道ツアー

- 外国人観光客が個人で観光するには難しい冬の道東を楽しんで頂くために造成。
- 台北/高雄⇄北海道(東京経由)のJAL往復航空券＋空港専用車送迎＋東北北海道エクスプレスバス＋宿泊に、流水ウォーク等、様々な観光をプラスしたフルパッケージツアー。

これまでの地方創生に関する取り組み

「好き」になっていただくための取り組み

- 知日派・親日派の育成
- 「空の上」の価値創出
- 飛行機の楽しさを広げる SPECIAL OLYMPICS

これからの取り組み ～新JAPAN PROJECT～

スカラシッププログラムや世界の子供向け文化活動を通して親日派の育成を図る

JALスカラシッププログラム

- アジア・オセアニア地域の大学生を日本に招待し、研修や文化交流を通じて日本への理解や、国境を越えた相互理解を深め、将来の地域を担う若者を育成することを目的とした「JALスカラシッププログラム」を主催しています。
- 1975年から40年に亘って、毎年実施しているプログラムで、アジア17の国・地域から、1,538人の若者が参加しています。
- 卒業生の中には、閣僚を務めるなど政財界で活躍されている方々もいます。



世界こどもハイク

- 全世界の15歳以下の子供たちの絵とハイクの作品を対象にした「世界子供ハイクコンテスト」を隔年で開催、優秀作品を「地球歳時記」という1冊の絵本にまとめ出版しています。
- 世界の子供たちにハイク創作の楽しさを広め、日本文化への理解を通して、相互理解と国際交流を促進していく取り組みです。

地球歳時記(抜粋)



わたしのゆめ
みんなしあわせ
世界の平和

My Dream
Always happy to all
Peace worldwide

Maysha Mahfuz Medha
バングラディッシュ
Age 6 Female



Dove-coloured night
I dream of getting
My wings too

Ночь сизокрылая
Снится, будто и я
Крылья обрел

◆◆◆◆◆
Нина Сильянова
Nina Silyanova
age 14 Female
Russia (ロシア)

夢は私にも
夜空は鳩の羽の色
羽がある

初日の出フライトで、「飛行機に乗ること」を観光素材に

- JALグループでは、2009年から実施している“初日の出フライト”は、上空から誰よりも早く確実に初日の出が見られる、という体験を提供するものです。
- 年々規模を拡大しており、2016年は、羽田空港、成田空港、関西空港、中部空港のそれぞれを発着する4つのコースを設定。多くの方にご利用いただいています。
- 世界的に見ても、離陸した空港に戻るというコースを、大型の旅客機でフライトする遊覧フライトは大変珍しく、「飛行機に乗ること」を観光素材として、売出している取り組みです。



催行	発着地、機材
2009	成田(767)
2010	成田(767)、羽田(767)、関西(767)
2011	成田(767)、羽田(737)
2012	成田(767)、羽田(737)
2013	成田(767)、羽田(737)
2014	成田(767)、羽田(767)、中部(737)
2015	成田(767)、羽田(767)、中部(737)、関西(E170)
2016	成田(777)、羽田(777)、中部(737)、関西(E170)



飛行経路(計画)

- 1 富士山北西方向、南アルプス上空にて初日の出をご覧ください。
- 2 北東に針路をとり、福島県只見付近上空へ。
- 3 茨城県上空を通過し羽田へ。



これまでの地方創生に関する取り組み

これまでの「好き」になっていただくための取り組み

これからの取り組み ～新JAPAN PROJECT～

- 新JAPAN PROJECT コンセプト
- 観光の基盤の強化 人財育成①(通訳観光ガイド)
- // 人財育成②(地域での接客講座)
- // 観光資源の維持・価値向上
- 6次産業化と観光振興 東北コットンプロジェクト

新JAPAN PROJECTでは、地方の魅力を創り高め、地域製品の販売に貢献し、さらに人を呼び込む好循環を生み出すことを目指し、取り組みを拡大していきます。

今後強化していく取り組み (ゾーン A, B, C)

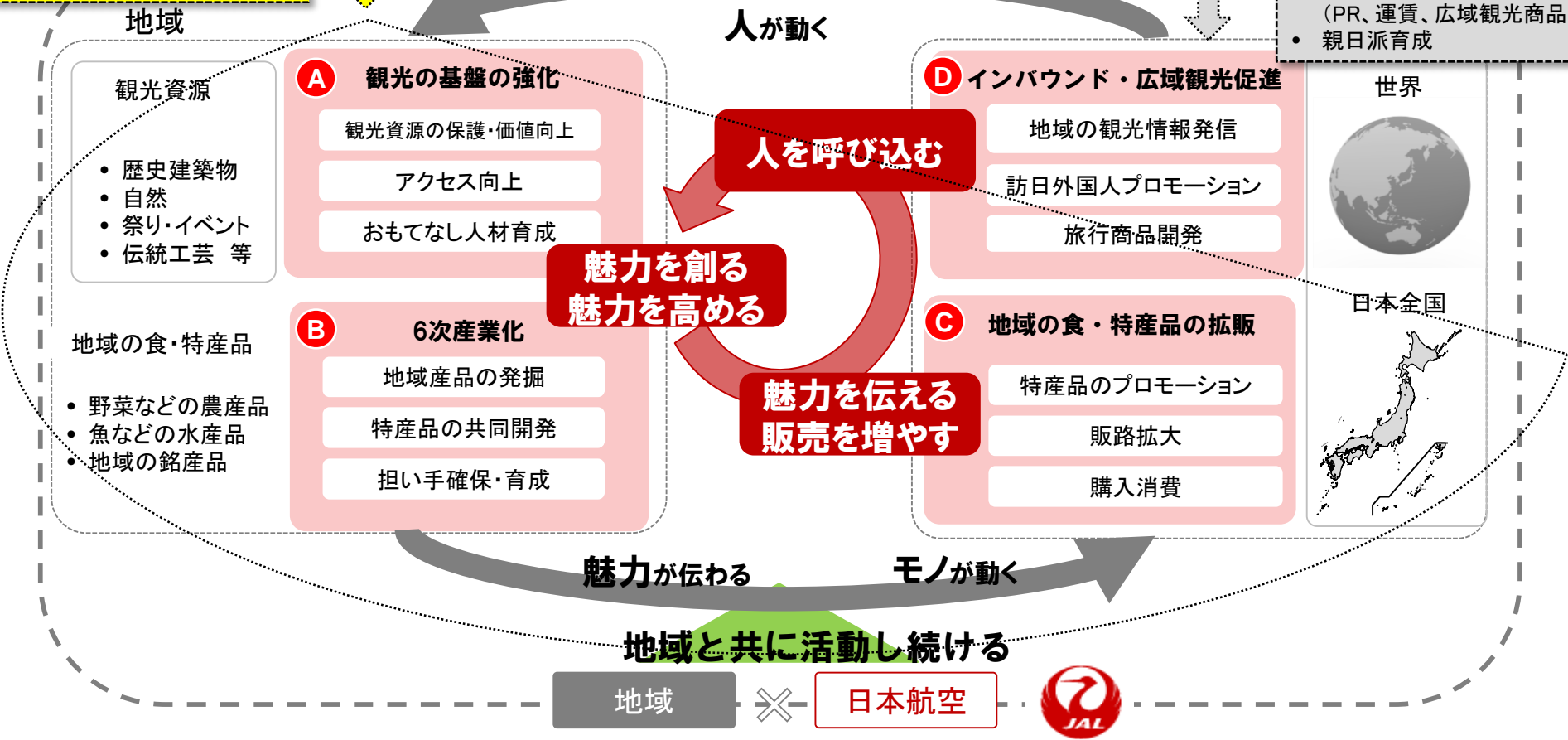
- 観光基盤の強化
- 観光資源の保護・価値向上
- 6次産業化
- 地域の食・特産品の拡販

地域の持続的な発展

- 交流人口拡大
- 地域産業の活性化
- 雇用の拡大
- 定住人口増加

これまでの取り組み (ご紹介済 : ゾーン C, D)

- 各種プロモーション
- 需要創出 (運賃、地方路線活性化、チャーター)
- インバウンド施策 (PR、運賃、広域観光商品)
- 親日派育成





魅力を創る・魅力を高める /おもてなし人材育成

九州の訪日外国人向け通訳観光ガイドの育成・PRに関する連携

- JALは、特区制度により可能になった通訳観光ガイドの人材育成の支援として、JALの客室乗務員や空港スタッフを派遣し九州各地での育成研修や有資格者向けフォローアップ研修を実施しています。

地方にとっての意義

- レベルの高い特区ガイドの育成に期待
 - 接客経験の豊富なJALの客室乗務員や空港スタッフのノウハウを提供し、マナー、身だしなみ、クレーム対応について、座学その他、ロールプレイングも交えながら、実践的なスキルアップを図ることに貢献しています。
- 九州全体の観光振興への貢献
 - 不足するガイド*1の育成により、受入体制が強化され、九州に多く寄港するクルーズ船や成長が期待されるLCCの利用者の誘致にも貢献しています。
- 高い経済効果
 - 旅行消費拡大に加えて、職業ガイドの育成を通じた雇用創出を目指しています。

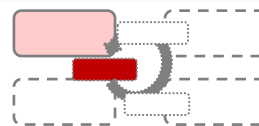


講習の実施風景



- 国家資格の代わりに特定の研修終了後の登録で、地域を限定した有償の通訳案内が可能になりました。(特区ガイド)
- 2015年2月に一般社団法人九州観光推進機構と日本航空が、特区ガイドの育成・PRに関して連携・協力するため協定を締結しました。
- 2015年2月以降、述べ10名の講師が、九州各地で研修を実施。合計で165人の受講生に対して、講演、座学による育成などの研修を行いました。

*1 全国の通訳ガイドのうち、75%が都市部に偏在。言語では2/3が英語のため、近年成長している中国・韓国・タイなどからの旅行者に対応できていない。



魅力を創る・魅力を高める / おもてなし人材育成

全国各地での観光人材育成の活動

全国各地でのおもてなし／接客講座

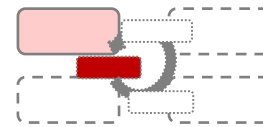
- 通訳ガイド育成に限らず、地域の観光関係者、大学・学校などからの要請により、数多くのマナー講座を実施しています。
- JALが長年培ってきたおもてなしのノウハウを地域における接客品質向上などに役立てていただくことで、観光客の増加や交流人口の拡大につながることを期待される活動です。

地銀との連携 ～秋田銀行との連携協力協定

- 秋田県では、秋田銀行と日本航空秋田支店が、地域経済・産業の活性化に関する連携協力協定を締結しました。
- 協働事業の第一弾として、女性経営者・従業員などを対象とする「おもてなし力」や「職業意識」の向上を目的とした講座を実施しています。

JAL地方支店によるマナー・接客講座の実施状況

支店	実施先
帯広	十勝管内商工会女性部員研修交流会
秋田	秋田県内事業者（秋田銀行との提携）
	横手市
	学校栄養士研修会
	美郷町
	男鹿市役所
岡山	岡山市立福田小学校
	県内公私立大学
山口宇部	常盤動物公園
	宇部市役所
高知	JA四万十
	馬路村農協
	商工会女性部会
	仁淀川町
	葉山中学校
	高知市内小学校
	商工会議所
	高知市旅館ホテル協同組合
徳島	金毘羅タクシー（徳島県経営者協会）
	公益社団法人徳島県看護協会
	県立新野高校
松江	出雲大社「神門通りおもてなし協同組合」
	島根大学



魅力を創る・魅力を高める / 観光資源の保護・価値向上

JALグループは、公益社団法人日本ナショナル・トラスト協会(以下「日本ナショナル・トラスト協会」)の推進するアマミノクロウサギ・トラスト・キャンペーンに協力し、奄美の豊かな自然を国民の財産として将来世代に引き継ぐ活動を応援します。

JALグループの日本エアコミューター(JAC)創業の地でもある奄美大島は、「奄美・琉球」が世界自然遺産の登録候補地として暫定リストに掲載されるなど、豊かな自然が残る美しい島で、今後の観光振興が期待されています。その奄美大島と徳之島のみには生息する絶滅危惧種アマミノクロウサギは、国の特別天然記念物で、現存するウサギの中で最も原始的な形態を残す、世界でも極めて貴重なウサギの種とされています。JALグループは、生物多様性保全ならびに奄美の観光振興の観点から、以下の取り組みを通じて、この活動を応援させていただくこととしました。

■JALアマミノクロウサギの森

トラスト・キャンペーン対象28区画のうち一部区画の取得に協力し、アマミノクロウサギ保護に貢献します。

■JMBみんなのアマクロの森

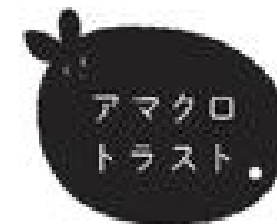
JALマイレージバンク会員の皆さまより、「JALチャリティ・マイル」としてマイル寄付のご協力を募り、一部区画の取得に協力します。

■活動の告知協力

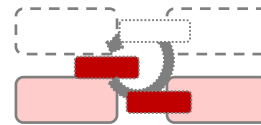
JACを中心に、奄美大島到着便の機内において、客室乗務員による告知を行うほか、奄美空港カウンター周辺でのポスター掲示、機内誌、JALグループウェブサイトを通じて、活動告知に協力します。

■奄美の観光振興

自然ガイド等と連携し、将来的に「JALアマミノクロウサギの森」「JMBみんなのアマクロの森」において、自然観察会やアマミノクロウサギナイトツアー等を行い、グリーンツーリズムによる観光振興に努めます。



これからの取り組み～先行活動内容～



魅力を創る・魅力を高める / 6次産業化
 魅力を伝える・販売を増やす / 地域の食・特産品の拡販

農業の再生、雇用と新産業を応援していくプロジェクト ～東北コットンプロジェクト～



東北コットンプロジェクトに参加

- 津波による被害などで、お米を創ることができなくなってしまった農地で「コットン」を栽培して、商品化し、農業の再生、雇用と新産業を応援していく約80の企業・団体が参加するプロジェクト。
- JALは、2011年のプロジェクトの立上げ直後から参加。社員が収穫作業などにボランティアで参加するほか、オリジナル商品を開発しJALのマイレージバンク会員に販売したり、綿花畑訪問ツアーを実施するなど、産業振興と交流人口拡大に貢献すべく活動を行ってきました。

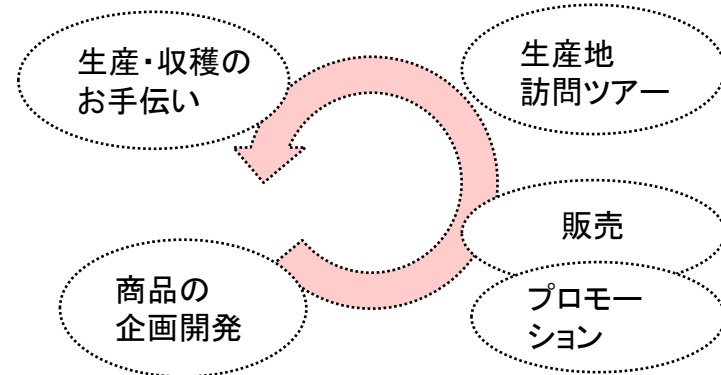
東北コットンを使ったJALのオリジナル商品の例



新しい産業を興す地方のお手伝いのモデル

- ボランティアの参加や情報発信だけでなく、商品開発から販売まで、JALとしてお手伝いしていくモデルです。
- また、地方の魅力を実際に訪問して感じてもらうことで、交流人口拡大、さらには、就農や移住に繋がり、定住人口の増加にもお役に立てる取り組みとして、今後も継続・拡大していきます。

産業振興におけるJALとしてのお手伝い



日本航空は現在、「チャレンジJAL」を宣言し、常にお客さまに新鮮な感動を提供することや、スポーツ、環境保護、新たな事業など、チャレンジを試みる方々のサポートを行うなどの取り組みを行っております。

日本航空の挑戦として、地方ネットワークの拡充や、掘り起こしから磨き上げ、そして、販路開拓といった地域産業活性化と雇用創出、地方への人の流れの創造を目指した「新JAPAN PROJECT」など、様々な施策を通じての地方創生に取り組んで参ります。

更には2020年の東京オリンピック・パラリンピックの成功とレガシー構築に貢献できるよう、日本航空グループ一丸となって強い思いのもと取り組んで参ります。



FLY to 2020

翼はいつも、挑戦のそばに。

東京がオリンピックに沸いた1964年、JALはアテネの聖火を届けました。
あれから半世紀。日本代表選手団の挑戦とともに歩む私たちは、再び東京の空へ。
世界へ挑む選手の夢に寄り添い、今まで以上の声援を届けるために。
日本の翼は、日本の新たな夢と一緒に進みつけていきます。



ご清聴ありがとうございました。

